

31年目に向けて 中期事業計画を刷新

公益財団法人長崎県建設技術研究センター

理事長 有吉正敏



新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当センターは良質な社会資本の整備と維持管理への支援を通じて本県建設事業の振興発展に寄与することを目的に1994年に設立され30年になりました。この間、県内唯一の建設系公益法人として様々な事業を行ってきました。

当センターでは各種事業の目標や展開内容を明確にした中期事業計画を5年ごとに策定しております。本年は第3期の最終年となり、現在、次期計画を策定しているところです。

第3期の5年間(R2～R6)には、人口減少が依然高いペースで進み、建設行政、業界とも人不足がより深刻化しました。また、異常気象が頻発し県内でも多数の災害が発生しました。当センターでは、令和2年度に発生した災害や国土強靱化対策による県内自治体からの支援業務、インフラDX業務など業務

量は大きく増加しました。研修やメンテナンス業務についてもニーズが増加する中、部署を再編、新設し随時実施してまいりました。

こうした状況に対応していくため、次期計画の基本的な方針を「既存事業を効率的に行いつつ、新しい事業へのチャレンジが可能な組織を構築すること」といたしました。センター内や既存業務を効率化し生産性を高めるとともに、高度な技術力を支える人材の育成と確保を行い、災害等による急激な業務量増加時の受け皿となる組織を目指してまいります。また、建設行政や業界のインフラDXや群マネをはじめとするメンテナンス関連の取り組みなど新しい事業へ積極的に参画していきたいと考えております。本計画に基づき各種事業に取り組みでまいりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、当センターでは30周年記念事業として長大橋の工事写真や図面などの資料を展示しております。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

時代の変化にあわせ 建設業界を徹底サポート

日建学院長崎校・佐世保校

事務局長 久芝洋平



新年あけましておめでとございます。謹んで新春のお

喜び申し上げます。

弊社は、建築専門書の出版社として創業し、建設・不動産関連資格取得の講習機関「日建学院」を中心に、現在全国113校(直営校)を構

え、長年の経験に基づく合格メソッドで受講生の夢を応援し続け、2024年8月、建築資料研究社は55周年を迎えました。

設計事務所に勤務しながら苦勞して1級建築士の資格を取得し、その経験から資格受験予備校を設立した創業者。強く美しい日本を築くためには建設が基盤になること。建設業界で生きていくなら資格は不可欠であること。だからこそ資格取得のために、必要なことをしっかりと効率的に学ぶためのサポーターの存在が重要だということで日建学院を創設されました。

時代は移り、私たちの生活は驚くほど変わりました。けれど目標に向かう人の努力、苦勞、合格の喜びや安心感は変わることはありません。スキルと努力の証である資格の価値も同じはずですが実際に

設計事務所勤務しながら苦勞して1級建築士の資格を取得し、その経験から資格受験予備校を設立した創業者。強く美しい日本を築くためには建設が基盤になること。建設業界で生きていくなら資格は不可欠であること。だからこそ資格取得のために、必要なことをしっかりと効率的に学ぶためのサポーターの存在が重要だということで日建学院を創設されました。

時代は移り、私たちの生活は驚くほど変わりました。けれど目標に向かう人の努力、苦勞、合格の喜びや安心感は変わることはありません。スキルと努力の証である資格の価値も同じはずですが実際に

受講生の合格を 全力でサポート

総合資格学院長崎校

学校長 福山裕昭



新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては健やかに新年をお迎えになられましたこととお慶び申し上げます。平素より総合資格学院に對しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。お陰様で総合資格学院長崎

校は開校10周年を迎える事となりました。これもひとえに皆様方のご支援とご協力の賜物と深く感謝しております。

昨年は、日本全土で様々な自然災害が発生し、多くの方々が影響を受けました。自然災害の頻発は、建設業界においても新たな課題をもたらしています。特に、災害に強いインフラの整備や、迅速な復旧作業を行うためには、専門的な知識と技術を持った人材が不可欠です。また建設業界は、技術革新や環境問題への対応が求められる時代に突入しています。特に、持続可能な社会の実現に向けた取り組み

は、人材不足が加速し、資格の重みは増しています。社会は優秀な人材を求めています。日建学院の使命として、貴重な建設業界の方々に対し、人材教育・育成のサポートをして参ります。

令和6年度に実施された建設業法改正に伴う施工管理技士受験資格の見直しにおいて、各施工管理技士受験者が大幅に増加しています。又、令和7年4月より建築基準法が改正され、省エネの義務化や建築確認申請の審査対象が大幅に変更されます。様々な時代の変化にあわせ、日建学院のできること、すべきこと、求められることも大きく、重

みが必要視されており、建設業においても新たな資格やスキルが必要とされています。当学院では、こうした社会のニーズに応えるため、カリキュラムの見直しを行い、受講生が実践的なスキルを身につけ、地域社会に貢献できる人材として成長できるよう、全力でサポートして参ります。

この度合格発表を迎えました令和6年度一級建築士設計製図試験の実績といたしましては、長崎県製図試験合格者14名のうち11名が当学院受講生(合格者占有率78.6%)と、多くの合格者を出すことができました。これも受講生

一人ひとりの目線に立った「真の個別指導」の成果であると自負いたしております。これからも「建設技術者の育成を通じて、多くの人々が安心・安全に暮らせる社会の実現に貢献する」という理念のもと、当学院のこれまでの実績に甘んじることなく、常に改善を心掛け、長崎県建設業界の発展に尽力して参る所存でございます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとりまして実り多い一年となりますようお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。